

読売理工医療福祉専門学校

学校関係者評価 報告書

2018年度・第2回

2018年12月1日

学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価

学校関係者評価は、卒業生・保護者・地域住民・企業役員等の学校関係者を委員として選任し、学校が実施した自己評価結果と取り組みに対する評価する。

委員は以下の項目について評価し、教育活動と学校運営の改善に向けて学校に助言する。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

2. 2018年度 第2回学校関係者評価委員会の実施

2018年度における各評価項目の取り組み状況と重点目標に関する取り組み状況を報告し、委員の方々に評価とご意見・ご提案を頂いた。尚、2018年度の重点項目は次の通りである。

・学生教育の充実

留学生の教育については過去2年間重点目標に置き、学校内の指導環境は大きく整備前進され、日本語能力向上・生活指導の体制は一通りの成果を見せることが出来た。

留学生の在籍数は増加してきており、進級・卒業生数も増加することから卒業後の進路決定に対しての充実を図りたい、進路として留学生の多くは日本国内での就職を希望しており、留学生に対する就職指導の方法を確立することを重点の目標にする。その達成には、就職に向けたマナーをはじめとした就職力の向上と共に企業の開拓に力を入れ、入学から卒業までの留学生の指導を確立する。さらに各学科においても、留学生の入学から卒業までのスタンダードを完成させる。

・教育の質保証関連

昨年度の各学科の自己点検評価に於いては、次の3つの項目について適切とする学科が少なく、職業実践課程の「最新の実務の知識・経験を教育内容・教育方法に反映した教育を行うことが期待されており、当該専門課程において、企業等との連携の下、職業に関連した実務に関する知識、技術及び技能並びに、授業及び学生に対する指導力等の修得・向上のための組織的な研修の機会を作る」という観点からも、重点項目とし今年度より適切なものにした。

- 1) 各学科の関連分野における実践的な職業教育の産学連携によるインターンシップ、実技・実習等のさらなる充実
- 2) 各学科の関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上
- 3) 卒業後のキャリア形成への効果を把握と支援

・移転準備作業の着実な推進

2020年4月の文京区への移転が決まり、新校舎での学校運営が滞りなく開始出来るよう、教室・実習室等設備等は勿論のこと、関連公官庁への届出変更、学生募集等に関する準備作業についても着実に推進する。

○ 開催日時：2018年12月1日（土）14：00～15：30

○ 場 所：読売理工医療福祉専門学校 402 教室

3. 学校関係者評価委員会委員および委員会参加者

【委員】

- ・渡部俊一：OB・理工専校友会会長
- ・米田尚美：保護者・放送映像学科1年
- ・湯浅孝雄：地域住民・慶応仲通り商店会・会長
- ・中村孝之：団体等・日本建築衛生管理教育センター
- ・羽場宏祐：企業等・放送映像学科
- ・鹿毛信一：企業等・建築系学科
- ・小嶋 守：企業等・電気電子学科
- ・加藤康晴：企業等・臨床工学系学科（欠席）
- ・大庭尚子：企業等・介護福祉学科

【学校側】

- ・千葉康文：理事長
- ・吉見淳一：専務理事
- ・渡邊敏章：校長
- ・天野誠一：法人本部長
- ・松井敏宏：事務局長
- ・菅野敬祐：校長補佐
- ・水落清治：校長補佐
- ・小川貴之：建築系学科長
- ・加瀬俊広：放送映像学科長
- ・角田浩二：電気電子学科長（欠席）
- ・沢田雄太：臨床工学系学科長
- ・曾我辰也：介護福祉学科長
- ・久保真樹：総務室次長

（敬称略・順不同）

4. 委員からの意見・提案（評価点：4点満点）

（1）卒業後のキャリア形成への効果を把握と支援（3.50）

- ・卒業生への資格取得アドバイス、試験の過去問の配布等積極的に実施されていることは評価できる。
- ・卒業生の就職後の情報収集と不運にも離職した卒業生の再就職サポートができる仕組みを構築でしたらどうか。
- ・卒業後の動向を把握することの難しさは理解できるが、各学科での対応に差が感じられた。遡り動向を把握することと並行して、今後卒業する生徒への対応も検討する必要がある。
- ・教員の仕事量が増えて大変ではないか。専門職を置いたほうが良い。
- ・以前のホームカミングのような事を行い卒業してから5年位毎年呼ぶ。また、卒業の時に再就職の手伝いをする事を伝えてはどうか。
- ・国家試験合格者の把握もしっかり出来ている。また、不合格者への支援も行い手厚く卒業生とかわかれている。

（2）教育の質の保証に関して（3.61）

- ・実践教育強化のためのインターンシップの実施、教員の指導力育成と資質向上と資格取得率向上ともに各学科が積極的、計画的に実施していて評価できる。
- ・学業の質の向上は勿論のこと、特に就職後の業務はグループ、チーム等の一員としての社会性の学習が必要である。

- ・教育の質の保証が誰に向けられているのか分かりづらいと感じた。生徒第一であってほしい。
- ・外国人留学生の語学フォローが良く実施されている。
- ・前回指摘された内容にすぐに対応して素晴らしい。
- ・学生の状況に合わせてカリキュラムの工夫をしている。

(3) 実践教育の強化としてのインターンシップの実施 (3.50)

- ・各学科の卒業生の就職先の業態を十分に把握し、計画的に取り組まれているのが評価できる。
- ・インターンシップにおける学生への効果の検証が必要。
- ・インターンシップでの経験は必要だと思うが、個人の評価より学校の評価として企業側は捉えていることも含み、学校側、企業の連携・信頼は生徒達に良くも悪くも影響することを念頭に
対応して頂きたい。
- ・出来る限り協力をしたい。
- ・学科によってはインターンシップに出しにくい学科もあると思われる。いろいろ工夫をしているのが分かる。今後も工夫や努力をお願いします。
- ・介護福祉学科は実習が卒業単位に組み込まれている。
- ・多くの企業へのインターンシップが教育のアップにつながる。

(4) 教員の指導力育成などの資質向上に向け、関連分野への研修について (3.50)

- ・専門分野の新技术の動静を把握し、カリキュラムの充実に努めていること。また、指導力向上のための研修に参加する等評価できる。
- ・教員の関連分野の各企業への短期体験研修を実施したらどうか。
- ・教員の指導力育成は、教育の質を向上するのに必要だと考える。人に教えるということは、自らも教わる立場である。教員が研修に参加しやすい環境づくりが必要。
- ・いろいろな研修に参加して良い。
- ・時間の無い中で努力している事が伝わる。学科で数名の参加なので学科内でのフィードバックが必要。
- ・教育方法等の研修の充実が望まれる。

(5) 資格取得率の向上 (3.50)

- ・各学科とも資格試験の合格率向上にむけ、さまざまな努力をしているのが評価できる。
- ・特に放送映像学科では資格として映像音響技術者試験があるが、映像、撮影、編集、分野に「読売理工基準」(学内基準)の仕組みを作ったらどうか。
- ・資格取得率の向上は、数字で簡単に評価できるので学校評価の裏付けになると考えます。しかし、資格の内容にもよるが、取得の必要性が学科で異なるのではないかと。
- ・各学科で努力している事は伝わる。
- ・数回の模擬テストの受験や国家試験対策も行われており、取得率の向上のための対策を講じている。
- ・実践の現場に入った時に必要な資格取得を目指すための情報収集が必要。

(6) 教育施設 (3.13)

- ・教育設備の充実に向けたさまざまな検討がされているが検討段階が多い。
- ・12月1日から4K、8K、BSの放送が始まった。撮影機材(カメラ)の記録メディアのフォーマットがカメラメーカーにより様々である(標準化されていない)。このため編集を含めプロセスが複雑になっている。機材選びも慎重になる。
- ・新校舎に向け整えられていくとは思いますが、現校舎で学ぶ生徒達に不自由がないように配慮して頂きたい。

- ・移転先も決まり、新校舎が楽しみである。
- ・新校舎への移転の準備もある中、大変と思うがご努力してほしい。
- ・古いが清潔である。

(7) 法令の遵守

- ・変わりゆく中で指導するのは大変だと思うが、社会に出る生徒達が困ることのないよう御指導を願いたい。
- ・人員、時間の無い中大変と思うが、ご努力ください。
- ・コンプライアンスは、事業の根幹であり現状の体制で、遵守してほしい。

5. 総合評価 (3.50)

- ・各評価項目とも総体的に見て良く取り組まれている。
- ・留学生へのサポート体制も順調に推移している。
- ・状況報告は分かりやすい反面、簡易すぎて評価しにくかった。全体的に取り組みは前回と変わりなく思えたのが残念であるが、来年度に期待する。
- ・大変良い方向に進んでいる。
- ・今後も商店街との共存交流をお願いする。学校の前向きな取り組みは良い。
- ・前回の指摘や今の社会にリアルタイムに対応して素晴らしい。継続を望む。
- ・種々の学科があること、交流があることで学生は学生らしい学校生活が送れている。

6. まとめ

今回の評価で委員の方々からいただいた意見・提案は、来年度の学校運営・教育内容に反映させていく。

以上